

## Allora マッパーにおける Xpriori・XMS データベースの使用方法

### I. 使用する前の設定

XMS データベースを Allora に使用する前に、下記を行なう。

(1) Allora-4.2-7 をインストールする。

ダウンロード: <http://www.hitsw.com/index.html>

(2) Xpriori XMS Database Client をインストールする。

ダウンロード: <http://xpriori.com/developers/download/index.html>

(3) Xpriori のインストール先(¥Neocore¥API¥Java¥lib)から「xmsclient.jar」をコピーして、Allora ディレクトリーの bin フォルダに入れる。

(4) Allora を始めて使用する場合は、Allora ディレクトリーの bin フォルダに mapper.properties を作成する。

\* Allora が既に使用された場合は、「mapper.properties」がもう存在している。

(5) 「mapper.properties」を開いて、下記を設定する。

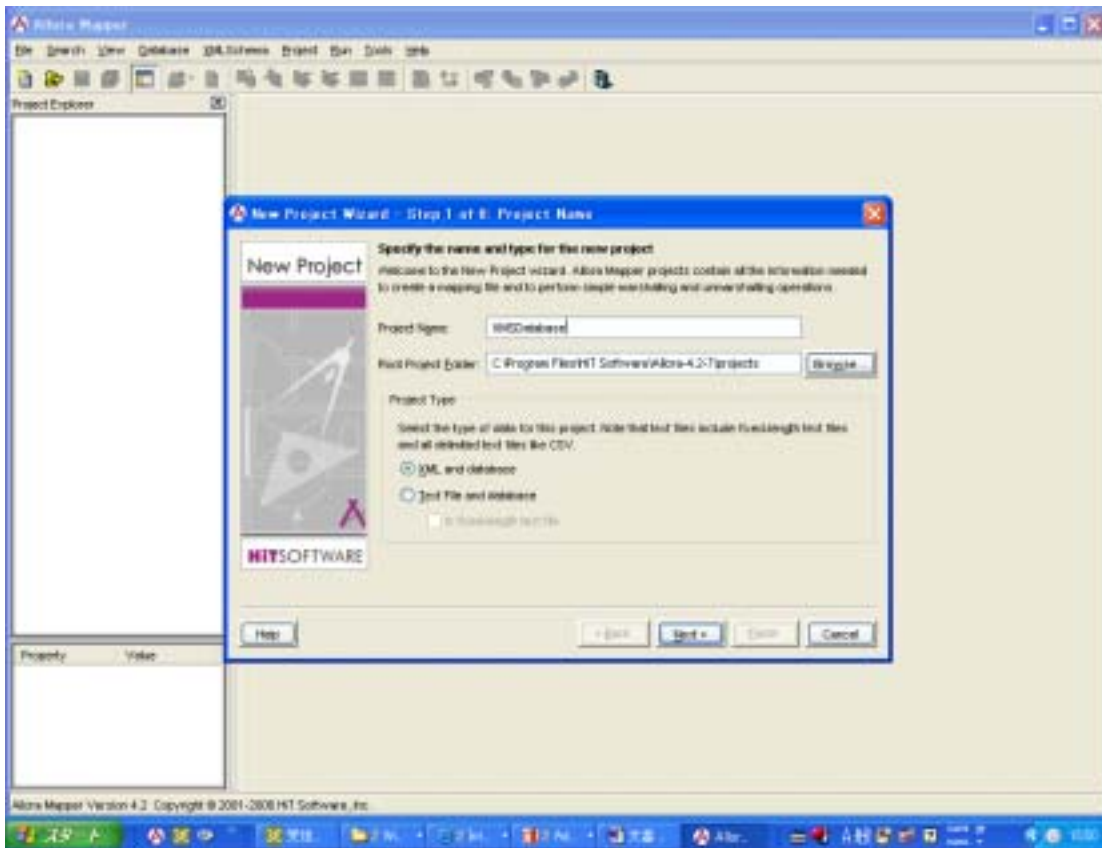
ACTIVATE\_XMS = true

\* Allora のデフォルト設定で XMS データベースの Marshall・Unmarshall の機能が使用不可になっているため、ACTIVATE\_XMS を true に設定すると、その機能が使用可能になる。

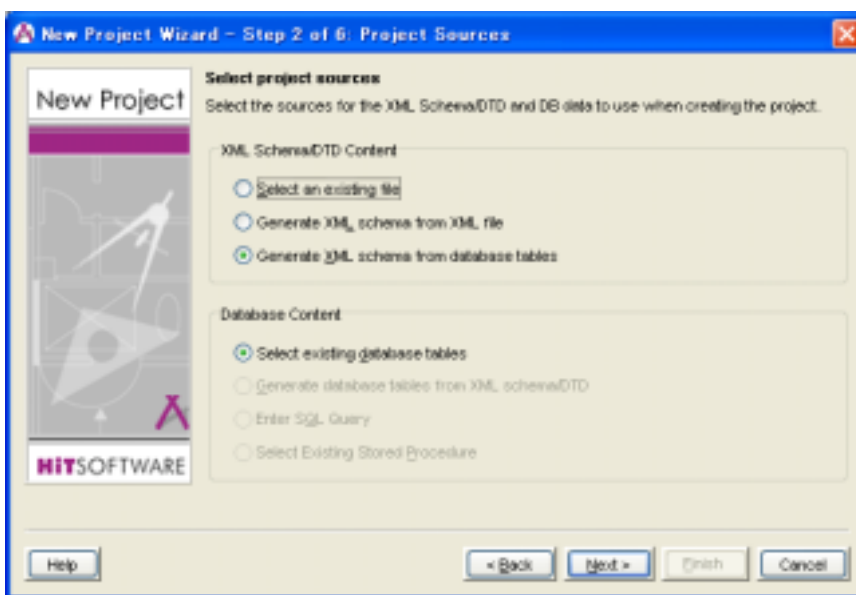
(6) Allora マッパを再起動する。

## II. マッパープロジェクトの新規作成

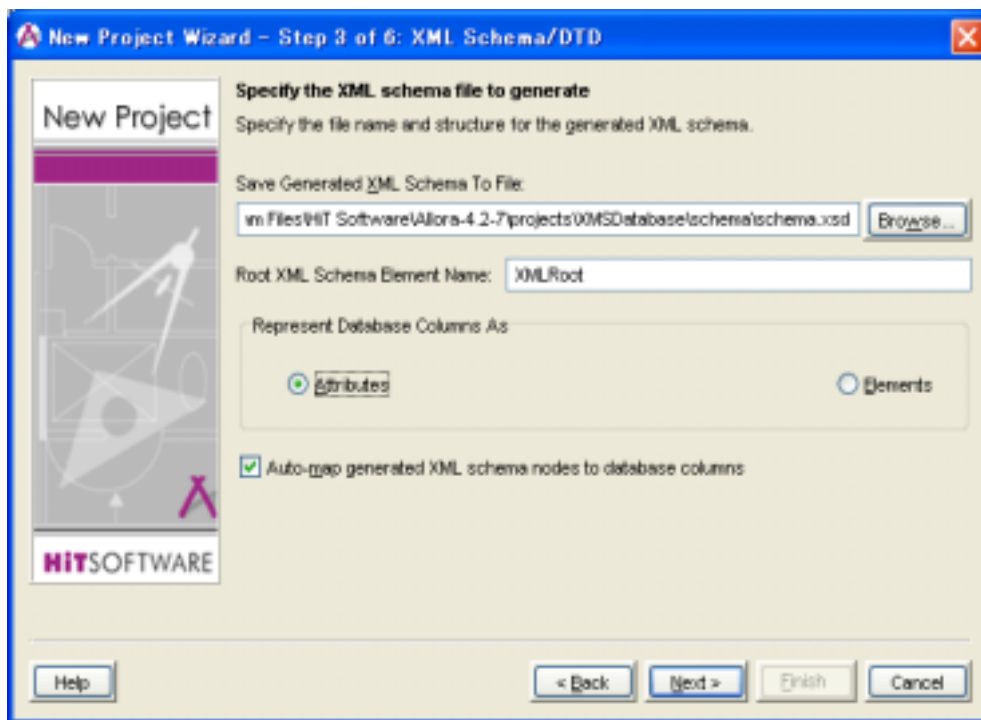
- (1) File > New Project を選択する。新規プロジェクトウィザードでマッププロジェクトの新規作成が行なう。プロジェクト名、プロジェクトルートフォルダ、プロジェクトタイプを指定して、「Next」ボタンをクリックする。



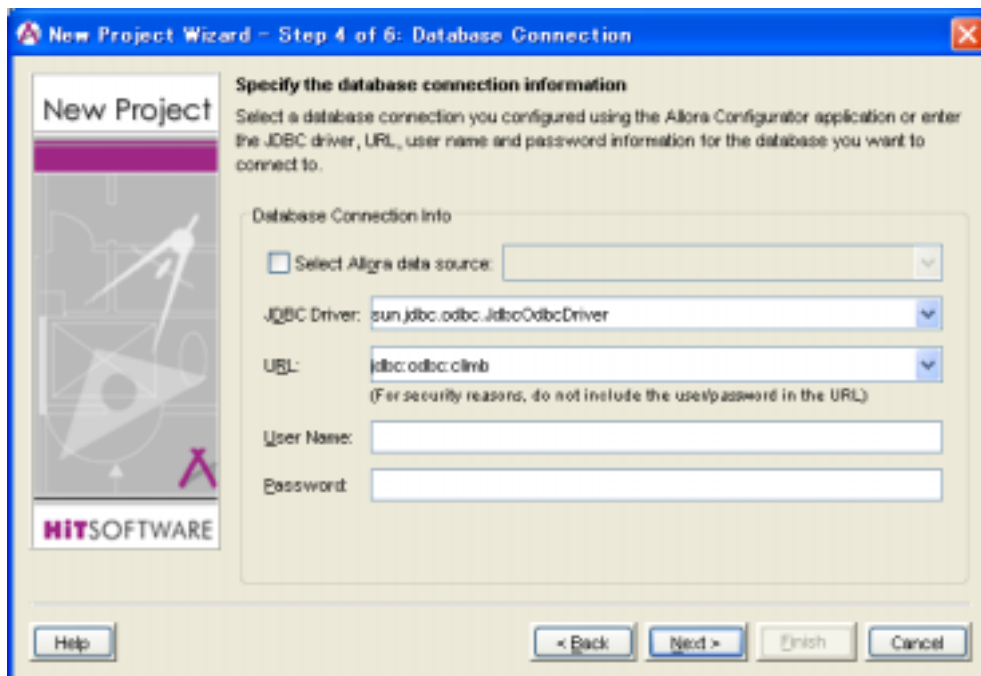
- (2) プロジェクトソースの設定を下記図のように設定する。



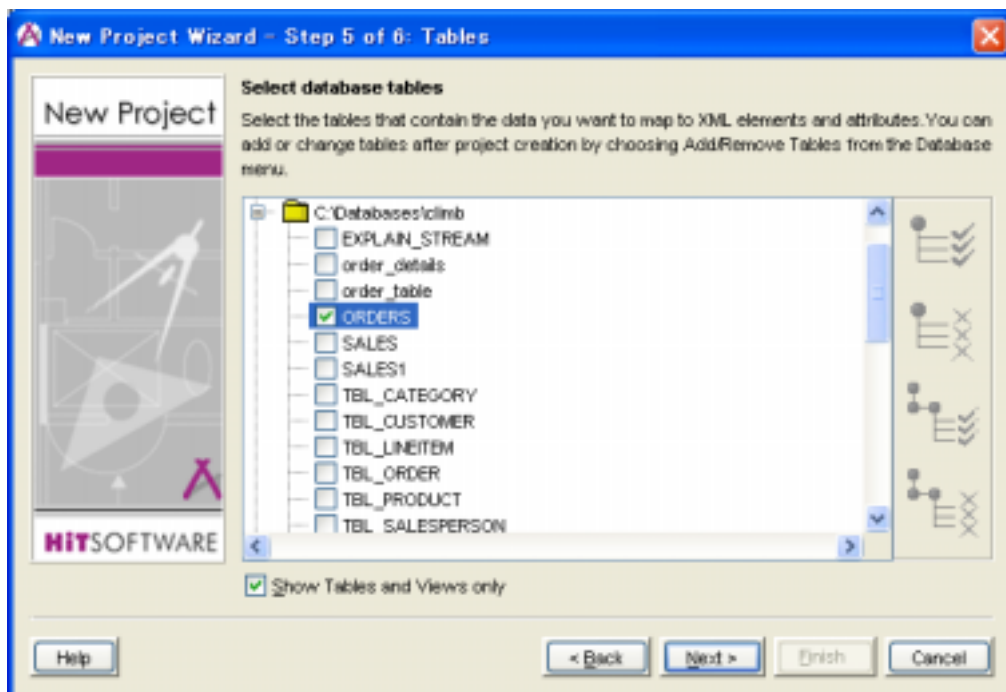
(3) 生成される XML スキーマファイルを下記図のように設定する。



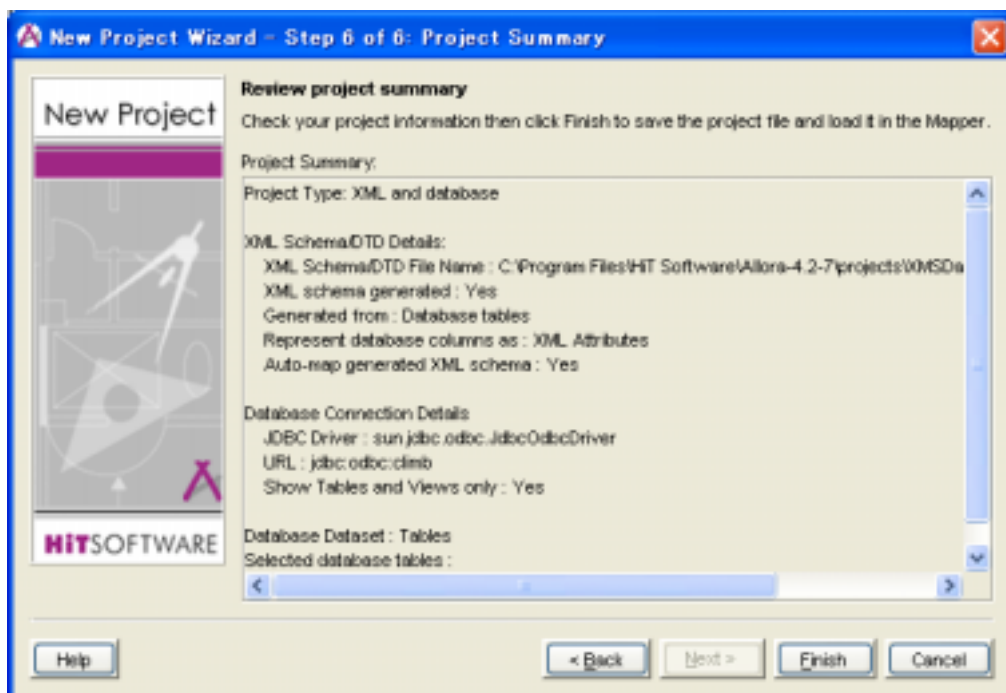
(4) データベース接続を下記図のように設定する。(例:MSAccess)



(5) 指定したデータベースのテーブルを選択する。

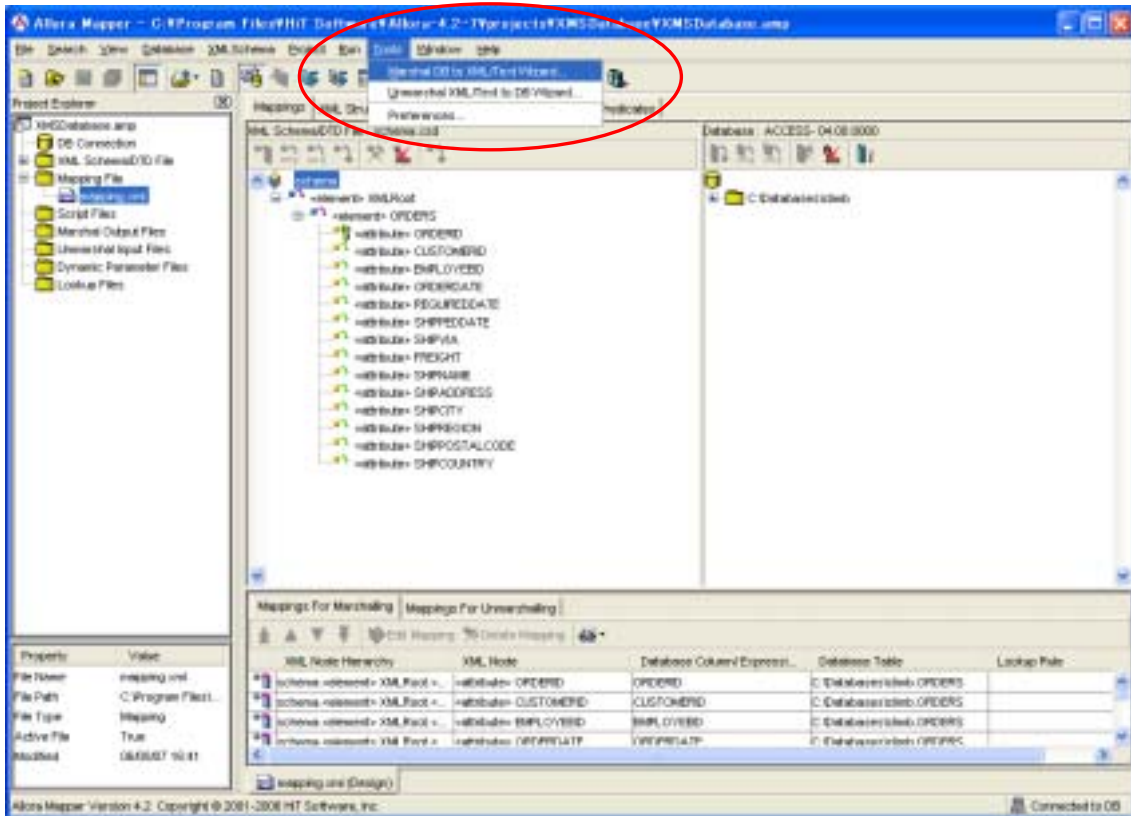


(6) プロジェクトのサマリーが表示される。「Finish」ボタンをクリックする。

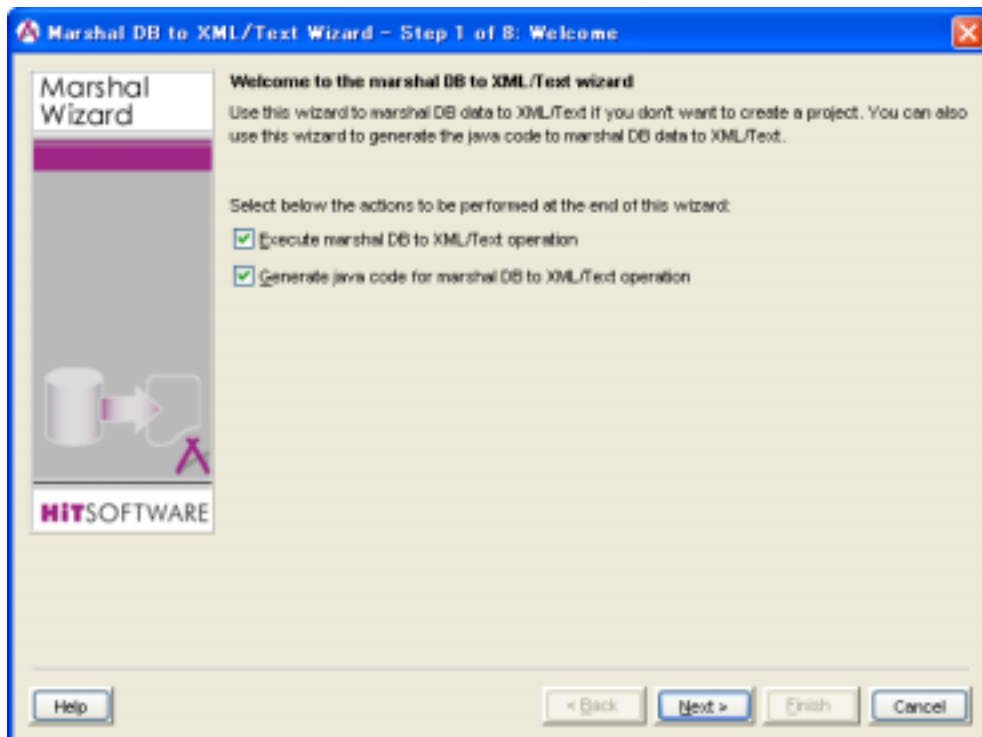


### III. リレーショナルデータベースデータ XMS データベースのマーシャリング

(1) 「Tools」メニューで「Marshal DB to XML/Text wizard」を選択する。

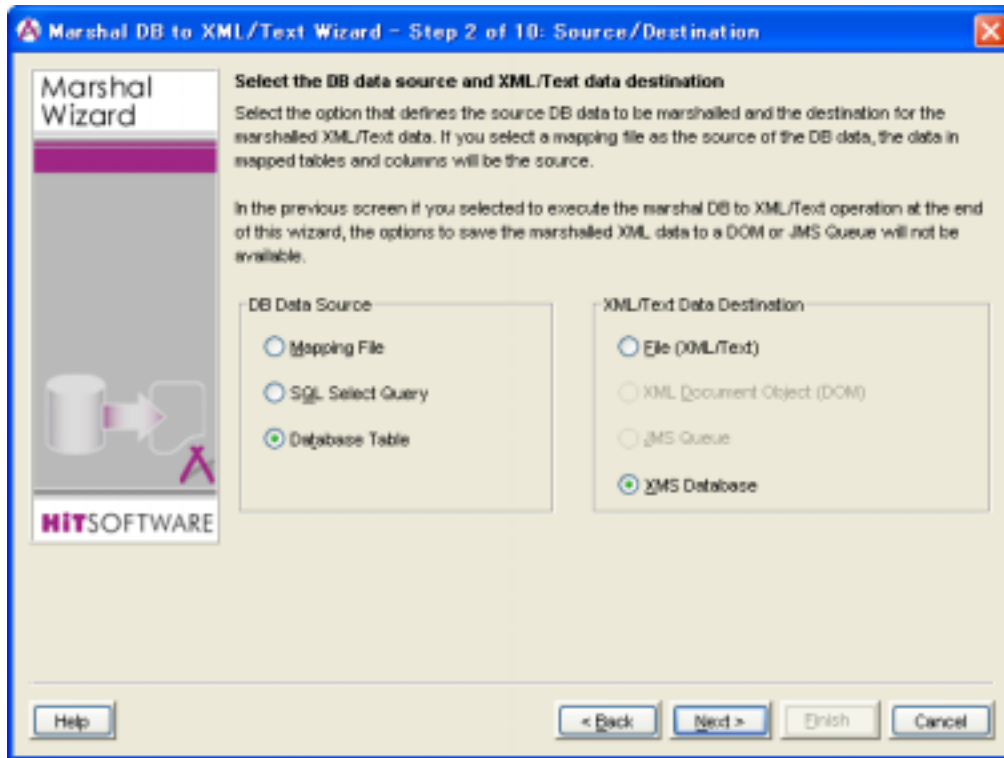


(2) 下記図のようにマーシャルの機能項目をチェックする。「Next」ボタンをクリックする。

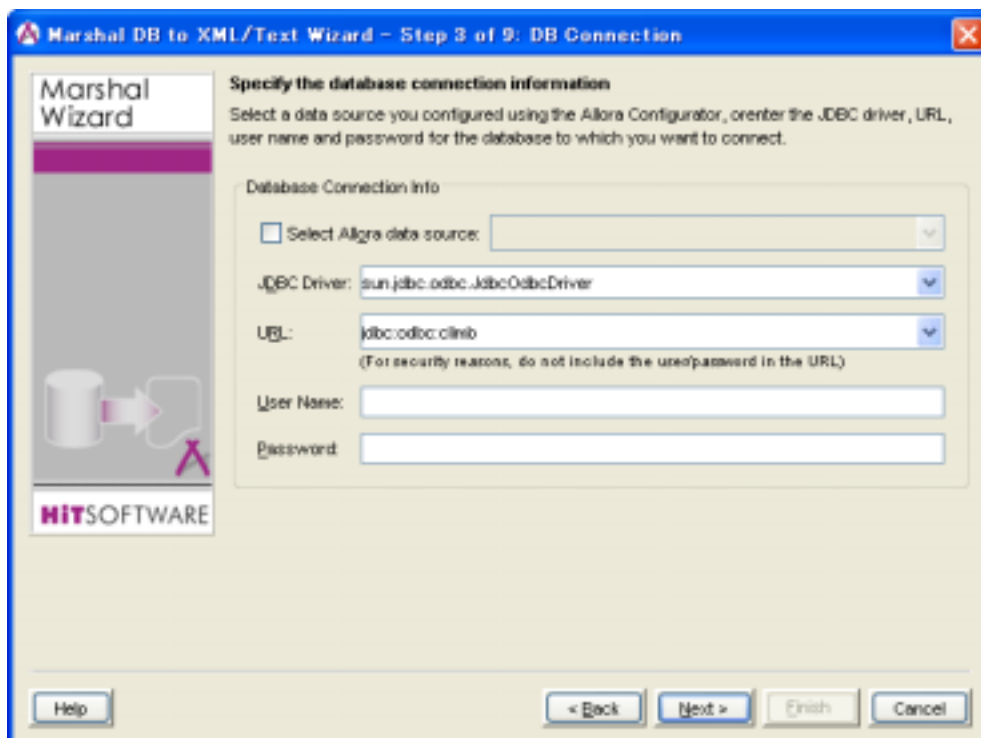


### (3) Marshal DB to XML/Text Wizard: Source/Destination

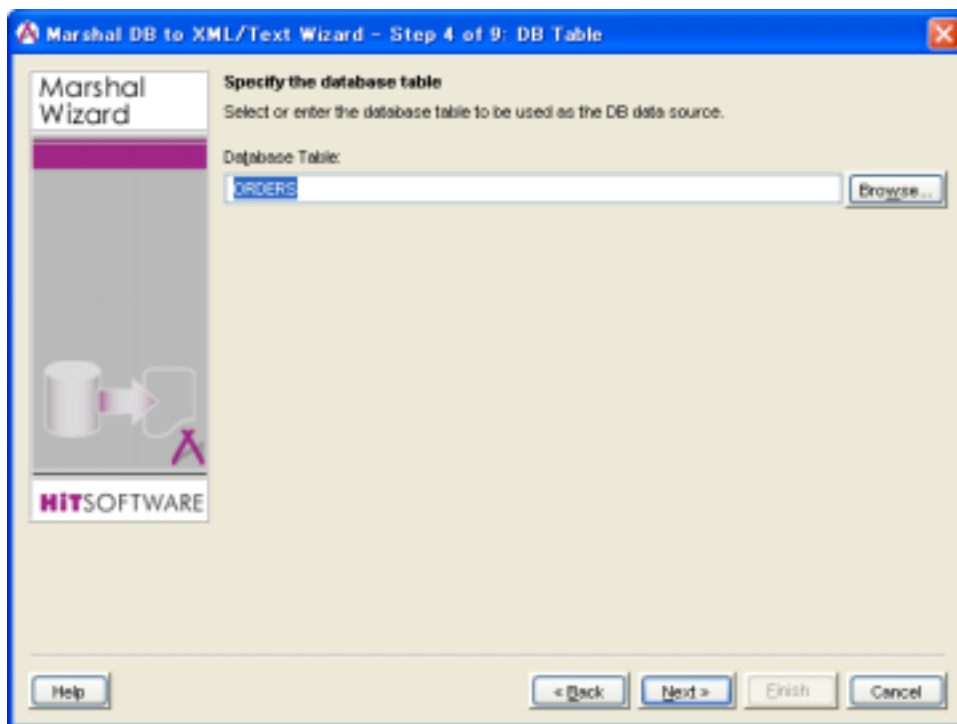
下記図のように DB データソースと XML・テキストデータ先を選択する。「Next」ボタンをクリックする。



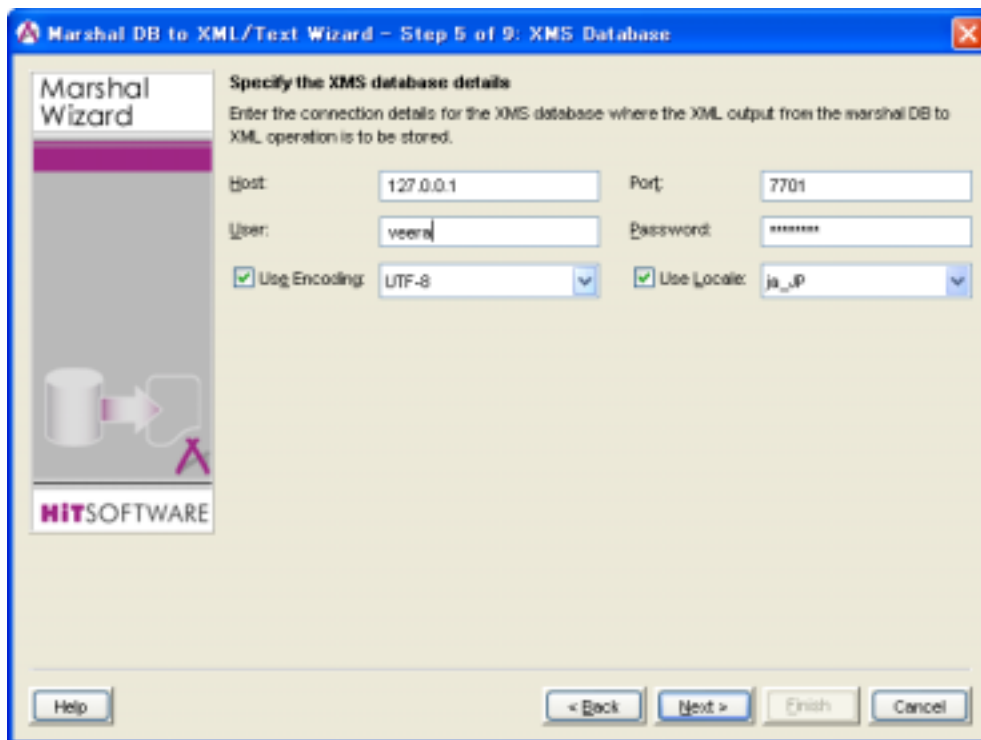
(4) データベース接続を下記図のように設定する。「Next」ボタンをクリックする。(例:MSAccess)



(5) 指定したデータベースのテーブル名を指定する。「Next」ボタンをクリックする。

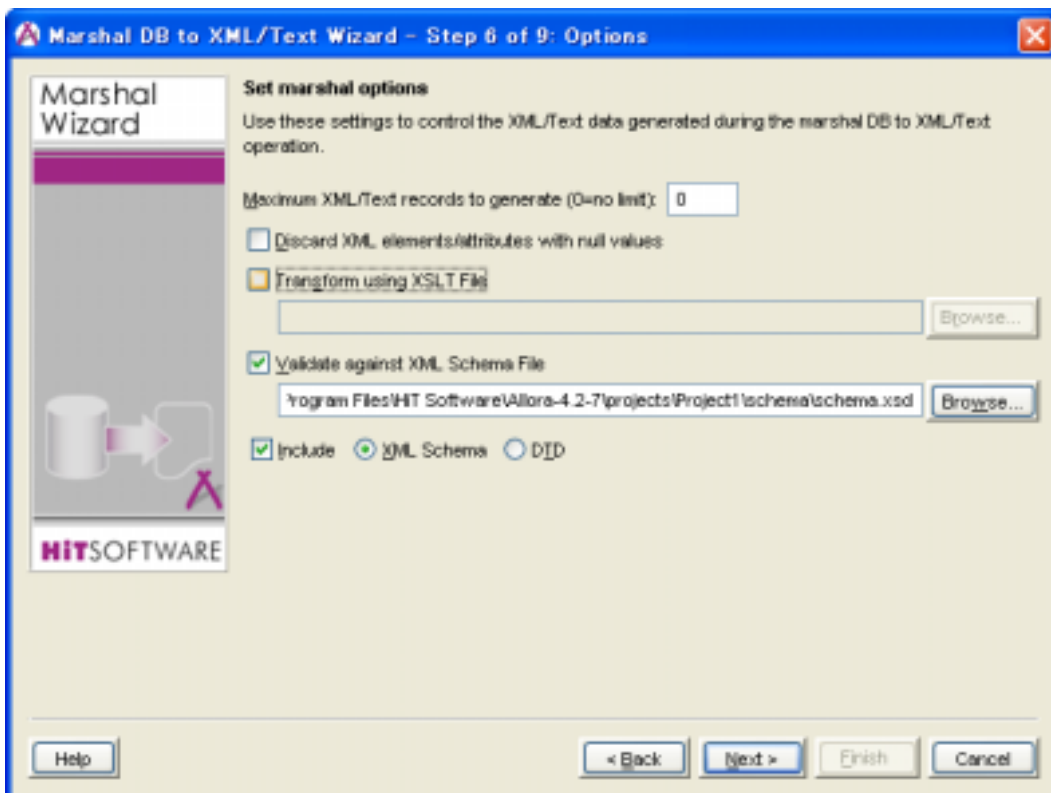


(6) Marshal DB to XML/Text Wizard: XMS データベース  
XMS データベースの詳細設定を行なう。「Next」ボタンをクリックする。

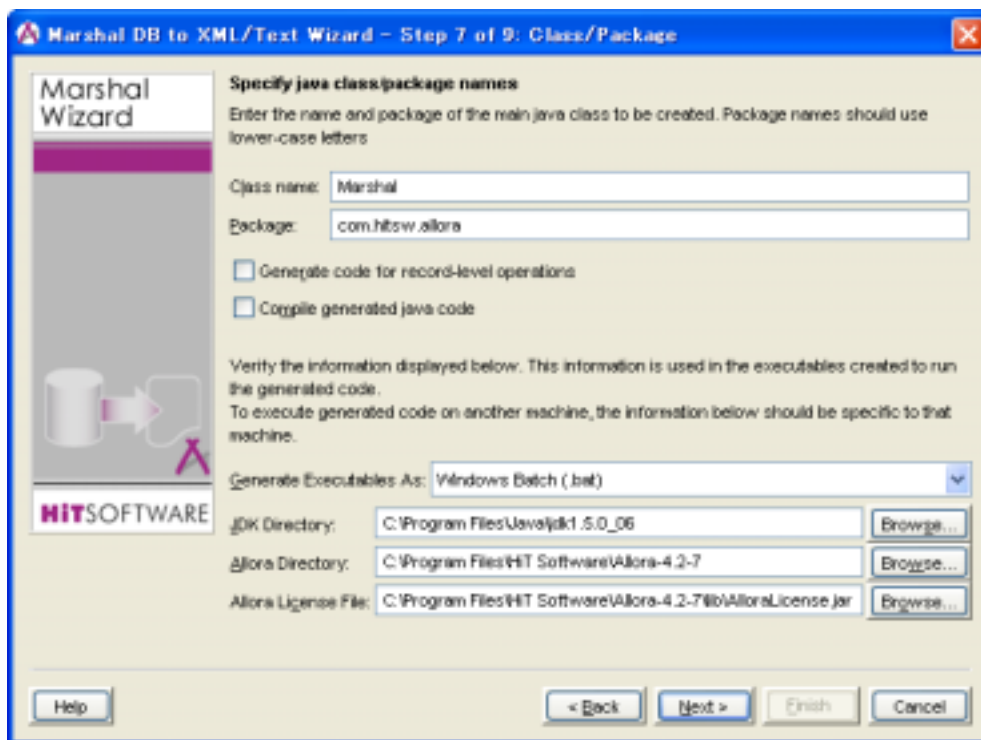


- Host - XMS サーバーの IP アドレス
- Port - XMS サーバーのポート番号。
- User - XMS サーバーのログインユーザ。
- Password - ユーザのパスワード。
- Encoding - エンコード設定。
- Locale - ロケール設定。

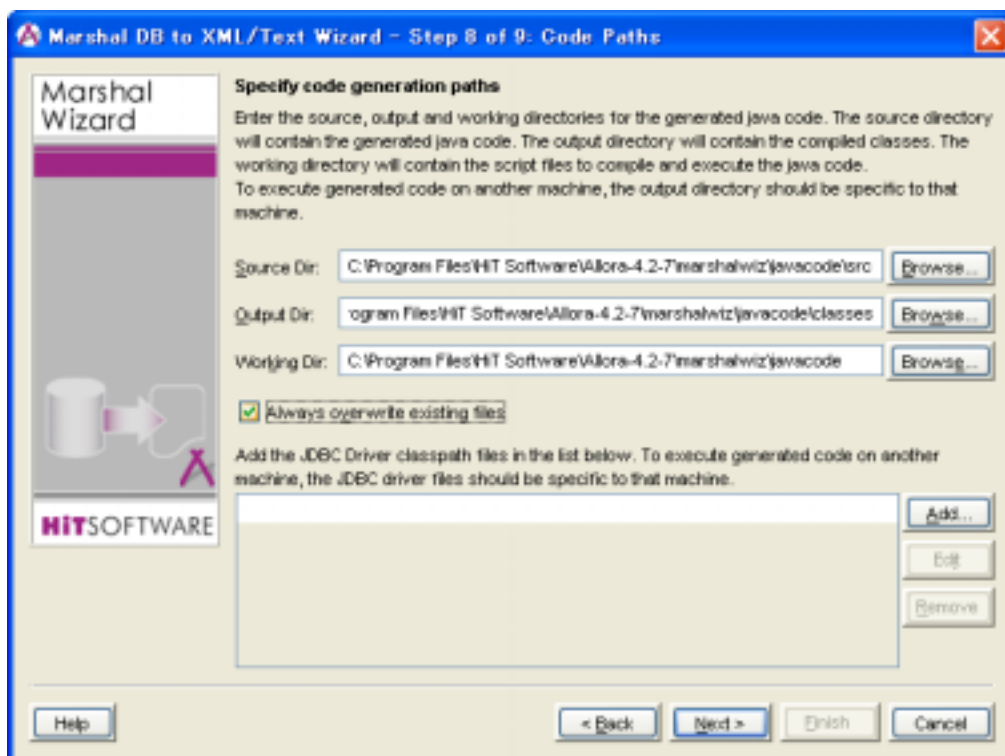
(7) マーシャルオプションを下記図のように設定する。「Next」ボタンをクリックする。



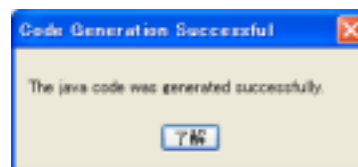
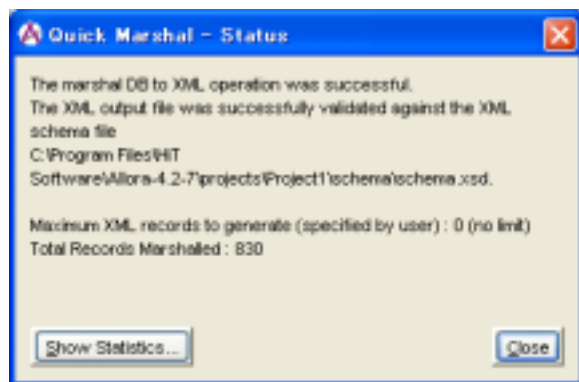
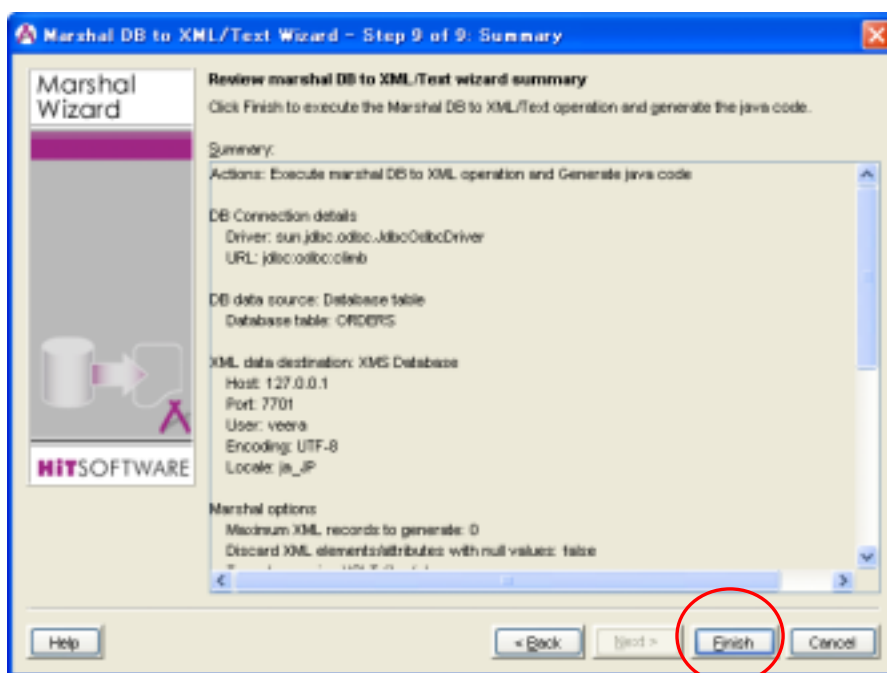
(8) JAVA クラス・パッケージを下記図のように指定する。「Next」ボタンをクリックする。



(9) 生成される JAVA コードファイルの保存先を下記図のように指定する。「Next」ボタンをクリックする。



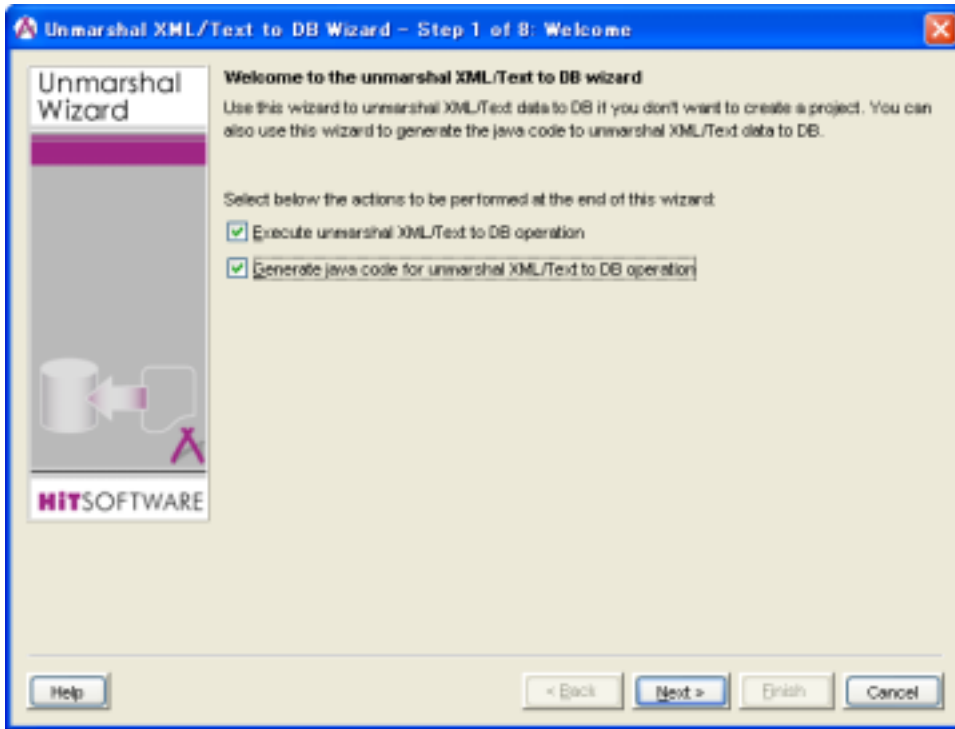
(10) マーシャルのサマリーが表示される。「Finish」ボタンをクリックする。



#### IV. XMS データベースデータ リレーショナル・データベースのアンマーシャリング

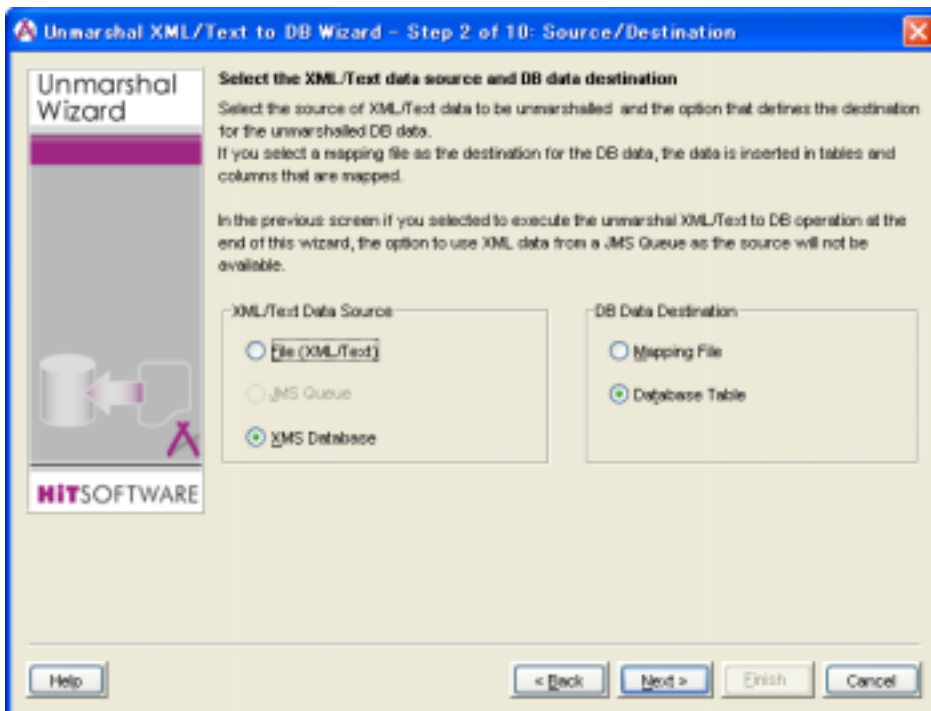
(1) 「Tools」メニューで「Unmarshal XML/Text to DB Wizard」を選択する。

下記図のようにアンマーシャルの機能項目をチェックする。「Next」ボタンをクリックする。



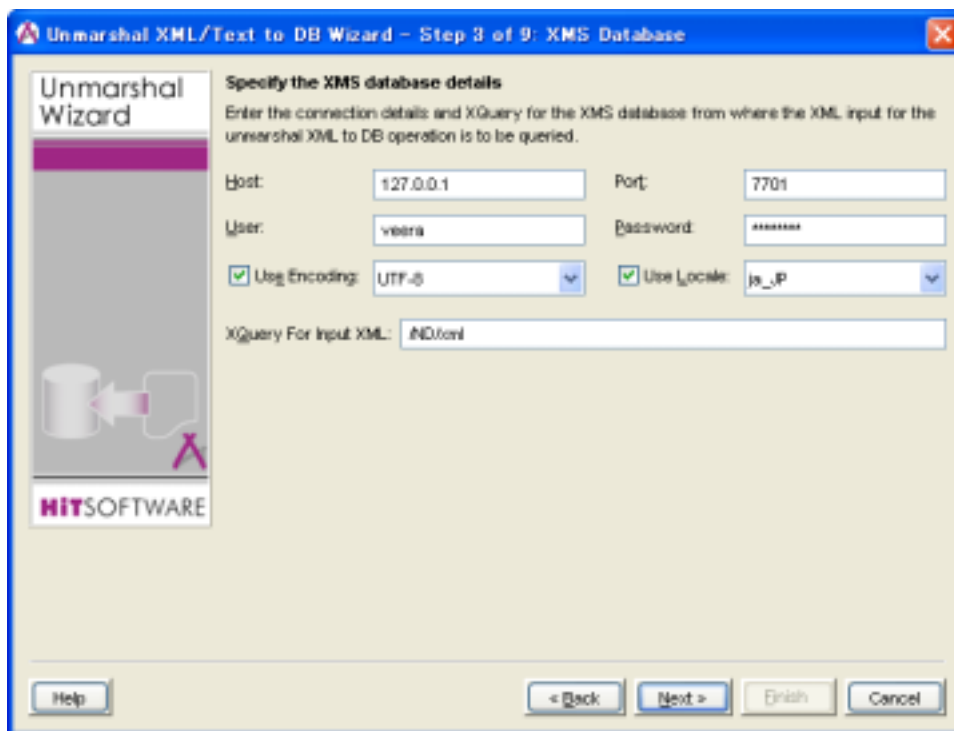
(2) Unmarshal XML/Text to DB Wizard: Source/Destination

下記図のように XML・テキストデータソースと DB データ先を選択する。「Next」ボタンをクリックする。



### (3) Unmarshal XML/Text to DB Wizard: XMS データベース

XMS データベースの詳細設定を行なう。「Next」ボタンをクリックする。



**Host** - XMS サーバーの IP アドレス

**Port** - XMS サーバーのポート番号。

**User** - XMS サーバーのログインユーザ。

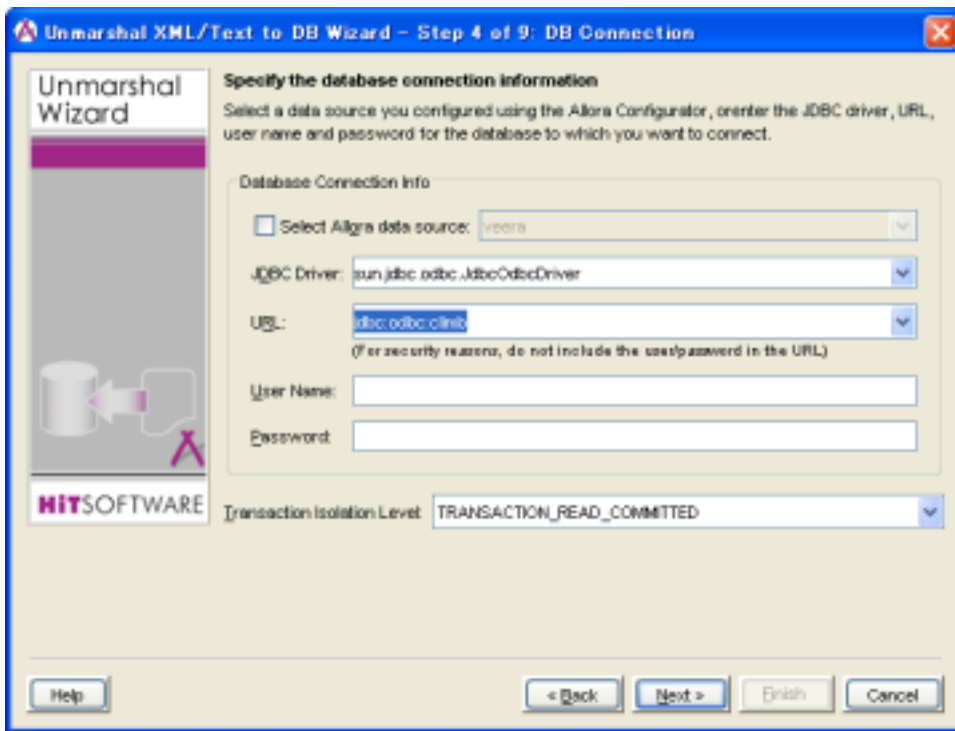
**Password** - ユーザのパスワード。

**Encoding** - エンコード設定。

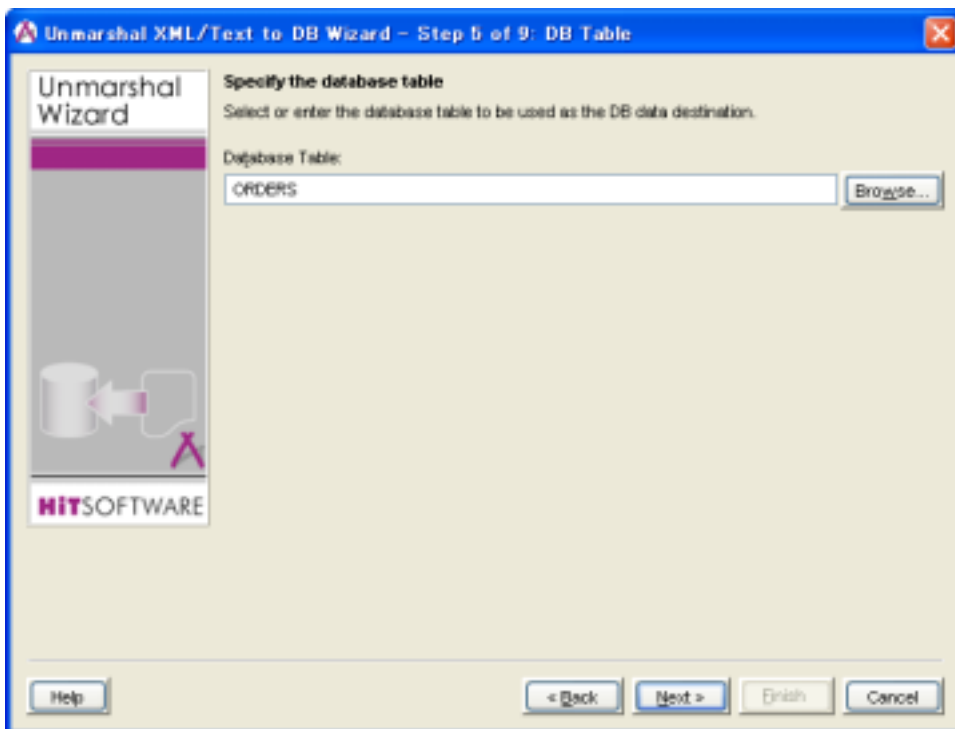
**Locale** - ロケール設定。

**Xquery For Input XML** - Xquery タグコマンド。(例: /ND/xml)

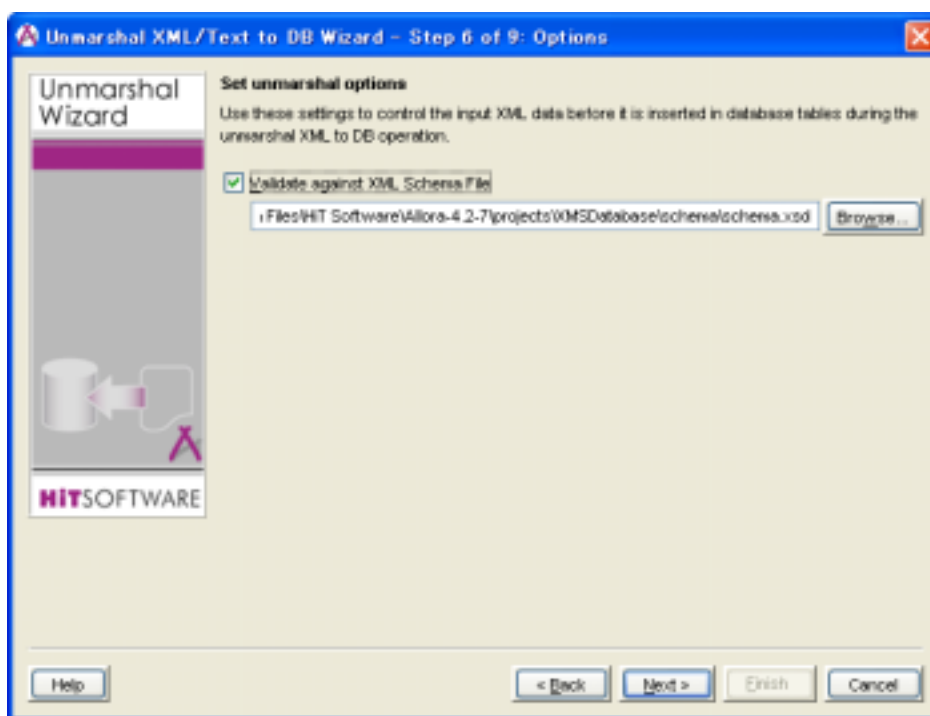
(4) データベース接続を下記図のように設定する。「Next」ボタンをクリックする。(例:MSAccess)



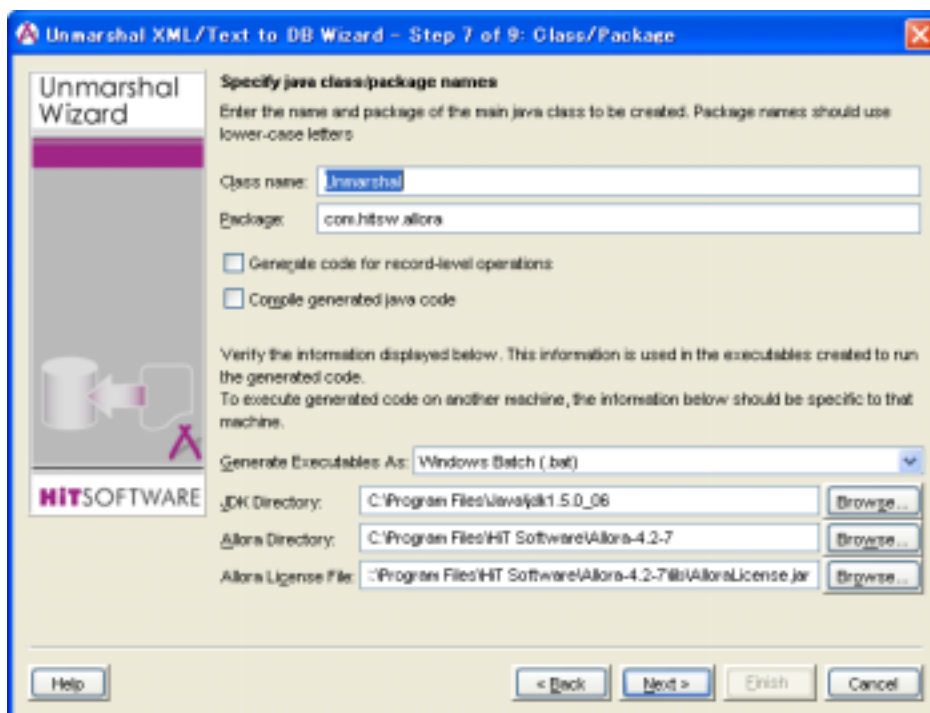
(5) 指定したデータベースのテーブル名を指定する。「Next」ボタンをクリックする。



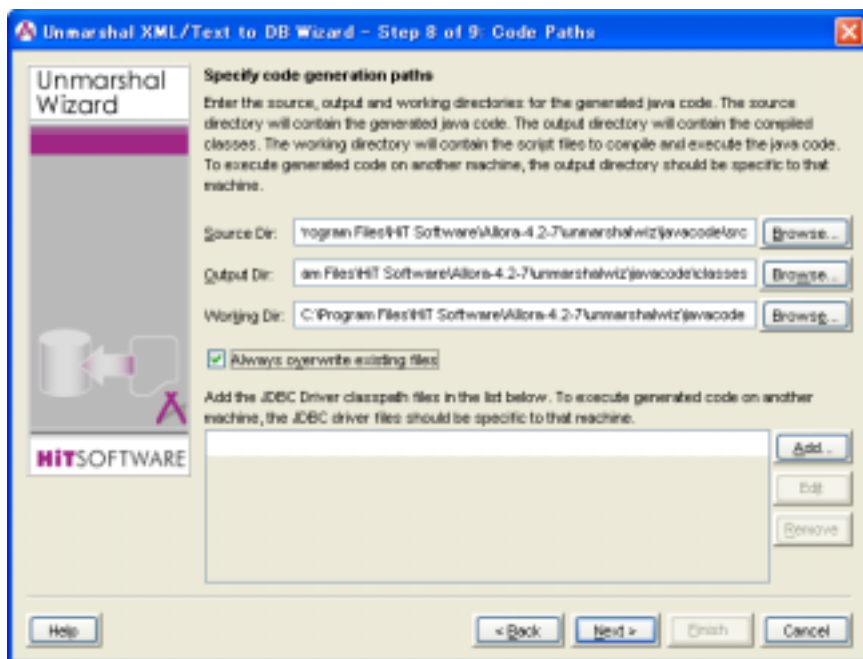
(6) アンマーシャルオプションを下記図のように設定する。「Next」ボタンをクリックする。



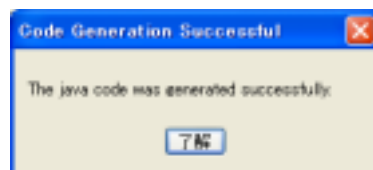
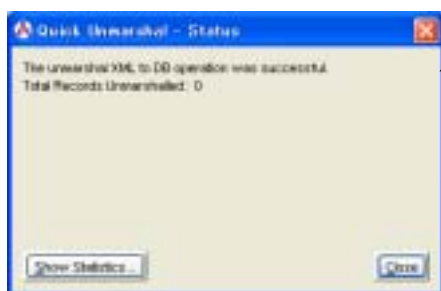
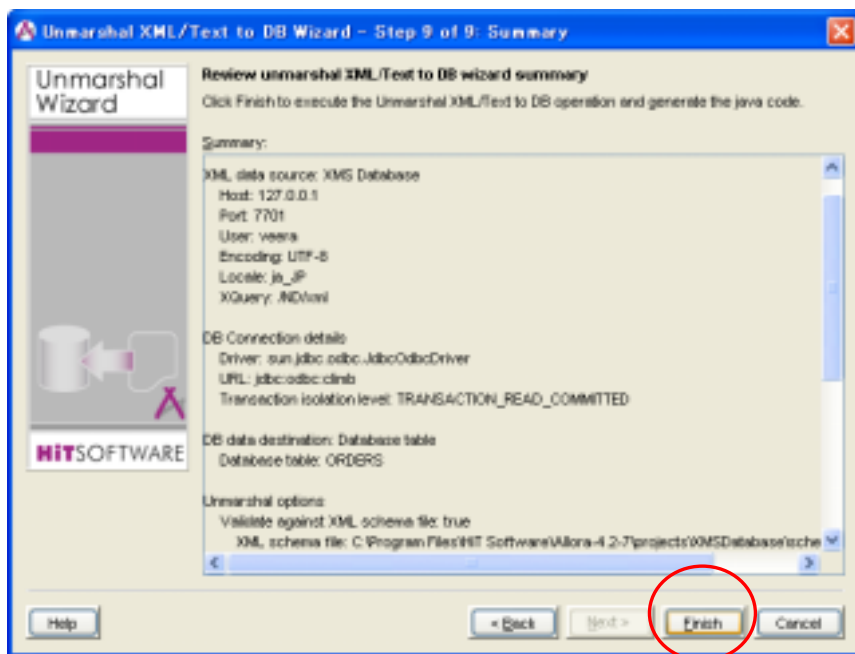
(7) JAVA クラス・パッケージを下記図のように指定する。「Next」ボタンをクリックする。



(8) 生成される JAVA コードファイルの保存先を下記図のように指定する。「Next」ボタンをクリックする。



(9) アンマーシャルのサマリーが表示される。「Finish」ボタンをクリックする。



## V. AlloraAPI で XPath クエリーの使用方法

AlloraAPI を使って、XPath クエリーを実行することが可能になる。

下記のサンプル JAVA アプリケーションで XPath クエリーが実行される。

```
1 // This Program for XPath Query.
2
3 import com.hitsv.xml.databinding.*;
4 import com.hitsv.xml.mapping.*;
5
6
7 public class RunXQuery
8 {
9     public static void main(String argv[])
10        throws XMLRecordsetException
11    {
12        System.setProperty("com.hitsv.xml.databinding.traceFlag", "true");
13        System.setProperty("com.hitsv.xml.databinding.traceStream", "XQueryTrace.txt");
14
15        XMLRecordset recordset = XMLRecordsetBuilder.newInstance();
16
17        recordset.setProvider("oracle.jdbc.driver.OracleDriver");
18        recordset.setUrl("jdbc:oracle:thin:@127.0.0.1:1521:XE");
19        recordset.setUser("system");
20        recordset.setPassword("password");
21        recordset.setOutputXML("output.xml");
22
23        // load the mapping file in a mapping object
24        XMLSchemaMapper mapper = XMLSchemaMapperBuilder.newInstance("mapping.xml");
25
26        // use the mapping object in the recorset
27        recordset.setMapping(mapper);
28
29        String xquery;
30        System.out.println("Sathyame Jayede");
31
32        xquery = "/xml/Customer[State = 'CA *']";
33
34        recordset.runXQuery(xquery, true, true);
35
36        // release the recordset and mapping objects
37        recordset.close();
38        mapper.deleteInstance();
39        recordset.deleteInstance();
40    }
41 }
42
43
```

生成された XML ファイルは下記とする。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xml>
  <Customer ID="2">
    <Company>Berman</Company>
    <FirstName>John</FirstName>
    <LastName>Mena</LastName>
    <Title>Mr.</Title>
    <Telephone>(882) 452 5568</Telephone>
    <Cellular>(882) 123 5688</Cellular>
    <Fax></Fax>
  </Customer>
</xml>
```

```
<Address>85 Walk Ave</Address>
<City>Los Angeles</City>
<State>CA</State>
<Zip>78554</Zip>
<Country>USA</Country>
<Order ID="1">
  <OrderDate>2002-12-06</OrderDate>
  <RequireDate>2002-12-20</RequireDate>
  <ShipDate>2002-12-15</ShipDate>
  <SubTotal>27852.95</SubTotal>
  <TotalAmount>27852.95</TotalAmount>
  <PayTerms>0</PayTerms>
  <TaxRate>0</TaxRate>
  <CustomerID>2</CustomerID>
  <SalesPersonID>10</SalesPersonID>
</Order>
</Customer>
<Customer ID="3">
  <Company>Fulltop Software</Company>
  <FirstName>Susan</FirstName>
  <LastName>Bishop</LastName>
  <Title>Ms.</Title>
  <Telephone>(408) 345 4995</Telephone>
  <Cellular></Cellular>
  <Fax>(408) 345 6666</Fax>
  <Address>1600 Admiral Ave</Address>
  <City>San Jose</City>
  <State>CA</State>
  <Zip>95887</Zip>
  <Country>USA</Country>
  <Order ID="3">
    <OrderDate>2002-12-02</OrderDate>
    <RequireDate>2002-12-26</RequireDate>
    <ShipDate></ShipDate>
    <SubTotal>2686.41</SubTotal>
    <TotalAmount>2686.41</TotalAmount>
```

```
<PayTerms>0</PayTerms>
<TaxRate>0</TaxRate>
<CustomerID>3</CustomerID>
<SalesPersonID>30</SalesPersonID>
</Order>
</Customer>
<Customer ID="5">
  <Company>French Weave</Company>
  <FirstName>Elliot</FirstName>
  <LastName>Hughes</LastName>
  <Title>Mr.</Title>
  <Telephone>(650) 334 4456</Telephone>
  <Cellular></Cellular>
  <Fax>(650) 334 4400</Fax>
  <Address>19 Union St.</Address>
  <City>San Francisco</City>
  <State>CA</State>
  <Zip>94331</Zip>
  <Country>USA</Country>
  <Order ID="5">
    <OrderDate>2002-12-03</OrderDate>
    <RequireDate>2002-12-18</RequireDate>
    <ShipDate></ShipDate>
    <SubTotal>2459.88</SubTotal>
    <TotalAmount>2459.88</TotalAmount>
    <PayTerms>0</PayTerms>
    <TaxRate>0</TaxRate>
    <CustomerID>5</CustomerID>
    <SalesPersonID>10</SalesPersonID>
  </Order>
</Customer>
</xml>
```

---

© 株式会社クライム

Tel:03-3660-9336 Fax:03-3660-9337

<http://www.climb.co.jp> Email:[soft@climb.co.jp](mailto:soft@climb.co.jp)